

受診の前日までに必ずお読み下さい

ドック・健診を 受けられる方へ



—お問い合わせ先—

地方独立行政法人

那覇市立病院 健診センター

フリーダイヤル：0120-784-155(予約専用)

—お問い合わせ時間—

平日（土日・祝日を除く） 9：30～16：00

—健診当日朝緊急時—

代表：098-884-5111 内線（351）

目次

1. 健診時にお持ちいただくもの・・・・・・・・・・・・・2
2. 女性の方へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3. 注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
4. 胃レントゲン検査を受けられる方へ・・・・・・・・・・5
5. 胃内視鏡検査を受けられる方へ・・・・・・・・・・・・・6
6. MR 検査を受けられる方へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
7. 検査項目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
8. オプション検査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
9. 結果、お支払い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
10. 台風時のお知らせ、個人情報について・・・・・・・・・・13



健診センターからのお願い

- * インフルエンザや流行性結膜炎など、感染症が疑われる方、
体調不良時の受診はご遠慮ください。
- * お子様連れはご遠慮ください。
- * すべて予約制なので、コース変更、予約日の変更・キャンセルなどは1週間前までにご連絡ください。

健診時にお持ちいただくもの

① 健康調査票、がん検診個人票など（あらかじめご記入ください）

- * 氏名、生年月日、住所、電話番号などをご確認ください。
- * 未記入の場合、検査開始が遅くなりますのでご了承ください。

② 健康保険証（お忘れになった場合、受診できません。）
保険証の種類が変更になった際には、必ず事前にご連絡下さい。

※後期高齢者医療制度、及び生活保護受給者の方は、
以下の保険証（証明書）もご持参下さい。
後期医療制度の方（高齢者受給証・後期高齢者医療被保険証）
生活保護受給者の方（生活保護受給証明書）

③ 受診券または利用券など（お持ちの方のみ）

※ 特定健康診査受診券、長寿健康診査受診券、がん検診受診券、
子宮がん・乳がんクーポン券、各種健康保険受診券など
* お忘れの場合は、検査を受けることができません。

④ 採尿（朝一番の尿を採取してください。）※該当者のみ

⑤ 採便（受診日の1週間前より採取可能です。）※該当者のみ

- * 2日分採取できない場合は、1日分でもお持ちください。
 - * 1日分採取後、24時間以上あけて2日目を採取してください。
- ※便・尿、それぞれの容器には必ず名前を書いてください。また、採取した容器は各々の袋に入れてください。
（便・尿の容器は一緒の袋に入れないでください。）

⑥ 喀痰（3日分、容器に必ず名前を書いてください。）※該当者のみ

⑦ 眼鏡、コンタクトレンズ、ケース

（コンタクトレンズをご使用中で眼底検査・眼圧検査のある方は、検査の際には
ずしていただきます。）

⑧ お薬手帳、薬の説明書（服用中の方のみ）



女性の方へ

生理中の方

- * 便検査・子宮がん検診を受けられない場合があります。
- * 乳がん検診については、生理期間外の検査が望ましいです。
- * 受診日が生理期間に重なる方は、日程の変更をお願いします。



妊娠中、妊娠の可能性がある方へ

- * 放射線を用いた検査（胸部・胃レントゲン・マンモグラフィー検査など）、胃内視鏡検査（胃カメラ）は原則として受けることができません。

授乳中の方へ

- * 原則として胃レントゲン（バリウム）、マンモグラフィーは受けることができません。
また、胃内視鏡検査（胃カメラ）では鎮静剤を使用することができません。

マンモグラフィーを受けられる方へ

- * 検査当日の『制汗スプレー』などのご使用はお控えください。
（レントゲン画像に映ることがあり、診断の妨げになることがあります。）
 - * 抗凝固剤を内服中の方はお申し出ください。
 - * 下記に該当する方は受けることができません。
 - ・ 心臓ペースメーカーのある方
 - ・ 妊娠中、妊娠の可能性のある方
 - ・ 豊胸手術を受けた方
 - ・ 授乳中及び卒乳後6ヶ月以内の方は、マンモグラフィーを受けることができません。
- 
- 

注意事項

検査前日：夕食は午後8時までに済ませてください。

＊ アルコールは飲まないでください。

検査当日：朝食、飲み物、タバコ、ガム、あめなど一切お口にしないでください。

※ 少量でも食事をとっている場合は、正確な検査結果が得られないため、検査が中止になることがありますのでご注意ください。

＊ 水は午前6時までコップ1杯飲んでかまいません。

お薬：常用の薬がある方は、必ず健診前にかかりつけ医に相談し、その指示に従ってください。

高血圧・心臓病の薬は、当日の朝6時までに水で内服してください。

※インシュリン注射治療中の方は、必ず事前に主治医に相談しその指示に従ってください。

※自己判断でインシュリン注射した方は、当日キャンセルになります。

その他：空調を寒く感じる場合がございます。必要な方はご自身のひざ掛けや上掛けをご持参ください。

お子様連れでの来院はご遠慮ください。

＊健康調査票等の問診票は、必ず事前に記入してご持参ください。記入されてない場合や記入漏れのある方は、検査の順番が後回しになります。

～．．．．．

検査が中止になる場合

- ＊ 検査当日の朝、食事を1口でも取ってしまった場合
- ＊ 発熱や、風邪症状など感染症を疑う場合
- ＊ 検査当日、血圧や心電図に異常が認められる場合など、医師の判断により、胃カメラや胃レントゲンその他の検査が中止になることがあります。

胃レントゲン検査を受けられる方へ

バリウム（造影剤）を用いて、食道・胃・十二指腸をレントゲン撮影する検査です。

胃を膨らます発泡剤（炭酸）とバリウム（造影剤）を飲み、検査台の上で横になったり、うつぶせになったりして、身体の向きや位置を変えて動いていただくことが必要になります。

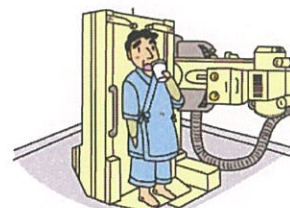
当センターでは鎮痙剤（胃の動きを抑える注射）は使用しておりません。

《胃レントゲン検査が適さない方》

- * お腹の手術を受けたことのある方や便秘のひどい方
（検査後にバリウムをうまく排出することができずに、腸閉塞などを起こす危険性があります。）
- * 身体的に体を動かすのが困難な方
（検査台からの転落の危険性があります。）
- * 食べ物や水分の飲み込みがうまくできない方
（バリウムをうまく飲み込めず、誤嚥（誤って気管に入る）の危険性があります）
- * バリウム（造影剤）にアレルギーがある方
- * ご年齢が75歳以上の方（受診者の安全性を考慮）
- * 妊娠中、授乳中、妊娠の可能性のある方

《胃レントゲン検査後の注意事項》

- * 検査終了後すぐに、多めの水（コップ2杯程）で下剤2錠を飲んでいただきます。
- * バリウムは体内に吸収されることなく、胃から小腸、大腸へ進み最終的には肛門から排出されます。そのため、水分をたくさんとって早めに白い便を出すようにしてください。そうしないと、腸の中で固まって排出しにくくなってしまいます。注意してください。
- * 検査終了後1日経過してもバリウム便（白い便）が全く出ない時や、急に腹痛が伴う場合は、ご連絡ください。



胃内視鏡検査を受けられる方へ

胃内視鏡検査は、口または鼻から内視鏡（カメラ）を入れて、食道・胃・十二指腸を調べます。

通常は経口内視鏡を施行しておりますが、経鼻内視鏡とのいずれかを選択できます。それぞれの長所、短所や適応について下記の表を参考にしてください。

特徴	経口内視鏡	経鼻内視鏡
前処置	<ul style="list-style-type: none"> 消泡剤と粘液除去剤を飲みます ☆ 咽頭反射を抑える為に咽頭部に十分麻酔をかけます 必要時、鎮痙剤（胃の動きを抑える注射）を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 消泡剤と粘液除去剤を飲みます ☆ 鼻腔のむくみをとる薬や麻酔液を鼻に点鼻し、麻酔剤を塗布したチューブを挿入します 必要時、鎮痙剤（胃の動きを抑える注射）を行います
咽頭反射の有無	カメラが舌に触れることにより、咽頭反射が起こりやすい（鎮静剤の使用により多少軽減されます）	カメラが舌に触れないので、咽頭反射は起こりにくいただし、全く反射がなくなるわけではありません
検査後の不快感や痛み	咽頭痛・腹満感などが起こる場合があります	鼻の痛み・鼻汁・鼻出血・耳閉感・咽頭痛・腹満感などが起こる場合があります
適応		<ul style="list-style-type: none"> 咽頭反射の強い方
不適応	<ul style="list-style-type: none"> 局所麻酔薬（キョウイ）にアレルギーがある方 	<ul style="list-style-type: none"> 抗凝固剤内服中の方 血液疾患などによる出血傾向がある方 鼻の既往がある方、副鼻腔炎・蓄膿症・アレルギー性鼻炎がある方 局所麻酔薬（キョウイ）にアレルギーがある方

※ 検査当日、義歯（入れ歯）については自己管理をお願いします。

《鎮静剤について》

経口内視鏡の場合、ご希望により鎮静剤（緊張を和らげる薬）を注射します。

- ※ ただし、車やバイクの運転はできません。
- ※ 心臓疾患・脳血管障害・呼吸器疾患・緑内障（高眼圧）治療中の方は、使用できない場合があります。
- ※ 原則、70歳以上の方・授乳中の方は利用できません。

《組織検査について》

胃内視鏡検査を実施するにあたって、検査中に異常所見（潰瘍・ポリープ・ビランなど）を認め、医師の判断にて必要とした場合、病理検査（悪性の有無を調べる検査）を行うことがあります。

- ※ 組織検査を受けた場合は、保険扱いとなり一部ご負担金をいただきます。（保険証をお忘れの方は、全額自己負担となります。）

《抗凝固剤・抗血栓薬内服中の方へ》

- ※ 抗凝固剤・抗血栓薬は中止せず、内服継続してください。
- ※ 原則、生検（組織検査）は行いません。
- ※ 抗凝固剤・抗血栓薬中止による脳梗塞、心筋梗塞の発生が非常に懸念されるため、生検は行いません。
生検が必要だと判断された場合、医療機関（主治医）を受診してもらいます。
- ※ サプリメント内服に関しては、前日の朝よりサプリメントの内服を中止し上部内視鏡を受けてください。

《胃内視鏡検査が適さない方》

- ※ 妊娠中、妊娠の可能性のある方



MR 検査を受けられる方へ

MR 検査とは、磁気を用いた検査で、頭部のタテ、ヨコといった輪切りの断面画像を写真にする検査です。放射線を使用しないので被曝の心配がありません。脳梗塞などの発見に有効です。また、造影剤を使用せずに、頭部の血管だけを立体画像化し、脳動脈瘤など血管障害の発見にも役立つ検査です。

※認知症検査ではありません。心配な方は専門機関を受診してください。

《MR 検査にあたって事前の注意事項》

- ※ 下記に該当する方は検査が受けられない場合がありますので、受診者様本人にて主治医(医療機関)へ事前にご確認ください。
- * 心臓ペースメーカーのある方
- * 妊娠中、妊娠の可能性のある方
- * 外傷や手術で人工関節や脳動脈瘤クリップ、血管ステントなどの金属物、静脈ポートが体内に入っている方
- * 閉所恐怖症など狭い場所が苦手な方
- * 歯科矯正中の方（インプラント・ブリッジ）
- * アートメイク、刺青

《MR 検査前の準備》

- ※ 下記のものを取りはずしてください。
- * 時計、指輪、ネックレス、イヤリング、ピアス、ヘアピン、かつら、眼鏡、コンタクトレンズ、補聴器、入れ歯、貼り薬、エレキバン、ブラジャー、スリッパなど
- * 化粧品（マスカラ、マニキュアなど）の中には金属を含んでいるものがあるため、化粧を落としていただくことがあります。

※健診(検診)コースの方は、結果説明はありません。
1ヶ月後の紙面報告になります。
ご了承ください。



ドック検査項目一覧（基本）

※加入なさっている健保組合によって、検査内容が異なる場合があります。

検査項目	検査内容	人間 ドック	脳 ドック	脳・人間 ドック併用
診察	甲状腺・胸部・腹部などの触診・聴診	●	●	●
身体測定	身長・体重・体脂肪率・腹囲・BMI・肥満度	●	●	●
血圧測定	血圧	●	●	●
眼科検査	視力・眼圧	●		●
	眼底検査	●	●	●
聴力検査	聴力判定	●		●
呼吸器検査	胸部X線・肺機能検査	●		●
循環器検査	安静心電図	●	●	●
消化器検査	胃X線検査	●		●
	※胃カメラへ変更した場合は5,500円の追加となります			
大腸検査	便潜血反応(2日法)	●		●
腹部超音波検査	肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓他	●		●
腎機能検査	尿酸・クレアチニン・eGFR	●	●	●
	尿素窒素	●		●
尿検査	蛋白・潜血・糖・ウロビリノーゲン・PH・比重	●	●	●
肝機能検査	AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GT(γ-GTP)・総蛋白	●	●	●
	アルブミン・ALP・LDH・総ビリルビン・A/G比	●		●
B型肝炎検査	HBs抗原	●		●
C型肝炎検査	HCV抗体	●		●
脂質検査	総コレステロール・中性脂肪	●	●	●
	HDLコレステロール・LDLコレステロール			
糖代謝検査	空腹時血糖値・HbA1c	●	●	●
膵機能検査	アミラーゼ	●		●
筋酵素検査	CPK	●		●
血液一般検査	赤血球数・白血球数・血色素量・ヘマトクリット	●	●	●
	血小板数・MCHC・MCV・MCH			
血清検査	梅毒・CRP・RA(RF)・血液型(初回のみ)	●		●
MR(脳検査)	MRI・MRA		●	●
頸動脈エコー検査	頸動脈		●	●

※ 赤 — 特定健診の検査内容です。

オプション検査について

オプション検査の追加ご希望の方は、受診日の3日前までにご連絡ください。

直前のお申し込みには、お応えできない場合がありますのでご了承ください。

※オプション検査について、結果説明はありません。

1ヶ月後の紙面報告になりますのでご了承ください。

(消費税 10%込み)

MR 検査セット (頸動脈エコー検査を含む)	22,000円
磁気を用いた検査で脳の病気や脳卒中の有無を調べることができます。 (ペースメーカーや体内に金属物が入っている方は受けられない場合があります。) 認知症検査ではありません。	

胸部 CT 検査	10,450円
日本人のがん死亡率第1位は肺がんです。レントゲンでは心臓や血管に隠れて早期の肺がんが写りにくいことが多く、その場合 CT 検査が大変有効です。 (ヘビースモーカーの方、身近に喫煙者がいる方、肺がんが心配という方にお勧めします。)	

エコー検査	超音波を用いて各臓器の異常の有無を調べます。
① 腹部エコー	5,500円
② 甲状腺エコー	3,850円

動脈硬化検査	血管(動脈)の硬さや詰まりの有無を調べます。
① 頸動脈エコー	3,850円
超音波で首の頸動脈を視覚的に観察して、血管壁の厚みや血管のつまり具合、動脈硬化の有無を調べます。	
② 血圧脈波検査 (ABI)	1,650円
両手両足の血圧と脈拍を同時に測定することで、血管の硬さや血管のつまり具合を測定します。	

心臓検査	心臓の動きを調べる検査です。
① 心電図検査 (安静時心電図)	1,650円
② 心臓エコー検査	8,800円
(単独では受けられません。心電図検査も必要になります。)	

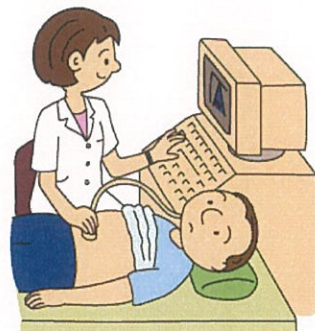
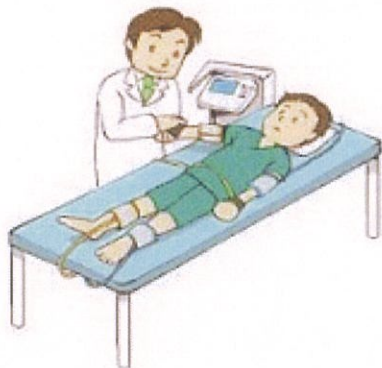
大腸カメラ検査	13,200円
大腸の観察、ポリープ、がんの有無を調べる検査です。※ポリープの切除はできません。 (後日の検査になりますので、ドック・健診と同日に受けることはできません。)	

骨密度検査 (超音波)	1,980円
超音波をかかとの骨にあて骨密度を測定します。骨粗鬆症が気になる方、閉経後の女性の方にお勧めします。	

乳がん検査	すべての女性の方にお勧めします。
(マンモグラフィーは40歳以上の方、乳腺エコー検査は40歳未満の方にお勧めします。)	
① マンモグラフィー (1方向)	3,520円
② マンモグラフィー (2方向)	5,720円
③ 乳腺エコー	3,300円
④ マンモ (1方向) + 乳腺エコー	5,500円
⑤ マンモ (2方向) + 乳腺エコー	7,700円
※注意事項はP3「女性の方へ」をご参照ください。	

子宮がん検査	
① 子宮頸がん	3,190円
② HPV検査	4,510円 (HPV検査は単独では受けられません。)
①子宮頸がん検査は子宮入口を観察しながら細胞を軽く擦り取って検査します。	
②HPV検査は子宮頸がんの原因ウィルスに感染していないか調べる検査です。	

尿沈渣	660円
腎機能や尿路の異常を調べる検査です。(がん検診のみの方は追加できません。)	



* 血液で調べるオプション検査

前立腺がん検査 (PSA)	2,200円
尿の出が悪い、排尿回数が多いなどの症状がある方にお勧めします。	
甲状腺ホルモン (TSH) 検査	2,090円
体重減少、手指のしびれなどの症状がある方や甲状腺が気になる方にお勧めします。	
BNP 検査	1,650円
心臓の異常の有無を調べる検査です。	
ヘリコバクターピロリ抗体	2,420円
血液のピロリ菌に対する抗体の有無を調べる検査です。 胃カメラ検査・バリウム検査を受ける方のみ追加可能です。	
ペプシノゲン検査	2,090円
胃粘膜の萎縮や炎症の有無を調べる検査です。 バリウム検査を受ける方、あるいは胃検査を受けない方のみ追加可能です。	
血中インスリン検査	1,650円
血液中のインスリンの量を調べる検査です。血糖値が気になる方にお勧めします。	
血液一般セット (赤血球数・白血球数・血色素量・ヘマトクリット・血小板数・MCHC・MCV・MCH)	1,540円
貧血や体内に炎症がないかを調べる検査です。	
鉄代謝検査 (血清鉄、不飽和鉄結合能 (UIBC))	440円
貧血をより詳しく調べる検査です。 検査コースによっては追加できない場合があります	
貧血検査セット	1,980円
上記の血液一般セットと鉄代謝検査を併せた検査です。	

※注意：検査項目については人間ドック及び脳ドックの中に含まれているものもあります。コースの内容をご確認の上申し込みください。

結果について

- * 結果報告書は約4週間後に郵送いたします。
- * 健診（ドック以外）のコースの方は、医師からの結果説明はありません。紙面報告になります。

お支払いについて

- * 身体的理由、その他の理由などでコースの項目を一部受けない場合においても、セット料金の為、原則、料金の差額調整はございません。
- * クレジットカードをご利用になれます。
 - ・ VISA ・ JCB ・ Master ・ OCS ・ NICOS など
- * 支払場所：5階 健診センター
(保険扱い分は、1階会計窓口での支払となります。)

台風時のお知らせ

暴風圏内に入り、路線バスが運休した場合、お休みになりますのでご了承ください。

振替日程につきましては、改めて日程調整のお電話をさせていただきます。

個人情報の保護について

ドック・健診で得られた個人情報は、健診後の支援、研究発表などの統計資料以外には使用することはありません。

なお、市町村や健保組合、共済会、事業所などを通して受診される方につきましては、各窓口担当者へ健診結果をお送りする場合がございます。事前に各窓口担当者より皆様へ同意を得ることになっておりますので、ご不明な点は各窓口担当者へご確認ください。

特定健診を受けましょう！

まずはお問い合わせを！

那覇市立病院 健診センター

フリーダイヤル：**0120-784-155**（予約専用）

—お問い合わせ時間—

平日（土日・祝日を除く） 9：30～16：00

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1

